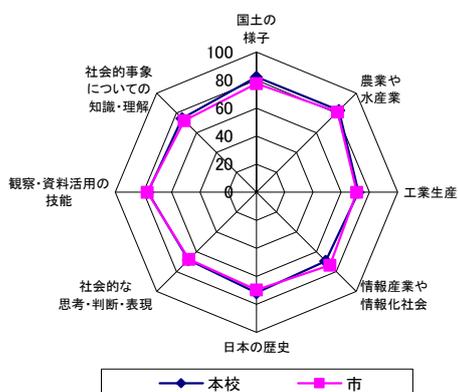


# 宇都宮市立清原北小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

|     | 本年度          |      |      |      |
|-----|--------------|------|------|------|
|     | 本校           | 市    | 参考値  |      |
| 領域別 | 国土の様子        | 82.2 | 77.5 | 74.0 |
|     | 農業や水産業       | 82.6 | 81.1 | 73.7 |
|     | 工業生産         | 72.2 | 71.1 | 73.5 |
|     | 情報産業や情報化社会   | 69.4 | 73.7 | 63.2 |
|     | 日本の歴史        | 71.8 | 69.7 | 73.5 |
| 観点別 | 社会的な思考・判断・表現 | 68.2 | 67.7 | 63.1 |
|     | 観察・資料活用の技能   | 76.9 | 77.3 | 75.5 |
|     | 社会的な思考・判断・表現 | 74.5 | 72.2 | 73.1 |

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



## ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

| 領域         | 本年度の状況   | 今後の指導の重点  |
|------------|--|---|
| 国土の様子      | <p>平均正答率は、市の平均を15ポイント上回っている。</p> <p>○日本周辺の海洋、国旗、雨温図とその都市の位置などについて理解できている児童が多い。</p> <p>○防災マップや会話文を参考に自然災害が起きた際の自助の大切さについて考えて表現する問題は市の平均正答率を上回った。</p> <p>●日本国内の気候の様子についての説明に該当する雨温図と都市を選ぶ問題では、特徴について理解できていない児童が見られた。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本周辺の国々、アジアの国々などの話題を取り上げ、日本との関係などにも目を向けさせていく。</li> <li>・災害が起きた際の自助、共助、公助などについて身近な実例をあげ、確認する。</li> <li>・雨温図の読み方を確認するとともに、毎日、天気予報を見るなど各地の気候の特徴を理解できるようにする。</li> </ul>   |
| 農業や水産業     | <p>平均正答率は、市の平均を1ポイント上回っている。</p> <p>○資料を読み取り、米の生産が盛んな地域や農業で働く人々が抱える問題について理解できている児童が多かった。</p> <p>●日本の食料生産がかかえる課題について、資料を基に考える問題の正答率が市の平均正答率を下回った。提示された資料がどんなことを表すためのものかを読み取れていない児童が多かった。</p>                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんなことを表した資料なのか、資料からどんなことが分かるのか、分かることからどんなことが言えるのかなどを意識しながら、資料を読み取るよう指導するとともに、資料の読み取りの練習をする。</li> </ul>  |
| 工業生産       | <p>平均正答率は、市の平均を1ポイント上回っている。</p> <p>○多くの工業地帯は海の近くにあり、船を使って運ぶことを理解できているが、問題を読んで、漢字1文字を入れるという条件に合わせてと困難になることがある。</p> <p>●化学工業の製品には、どういうものがあるか理解していない児童が見られた。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・普段から条件に合わせて答える問題に慣れさせていく。</li> <li>・工業製品の分類を再確認する。特に化学工業、金属工業については、具体物などを提示しながら確認する。</li> </ul>   |
| 情報産業や情報化社会 | <p>平均正答率は市の平均正答率を4ポイント下回っている。</p> <p>●身の周りのメディアについての情報の種類について正しく理解できていない児童がいる。また、医療における情報ネットワークの利便性について資料から読み取れない児童もいた。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・普段から条件に合わせて答える問題に慣れさせていく。</li> <li>・身の回りのメディアではあるが、身近でないものもあるため、種類や特徴について確認する。</li> <li>・資料と説明文を読み比べながら、どんなことが言いたいのか、ポイントはどこなのか、考えながら読み取り、大切な部分には、下線などを引き、意識して読み取っていくよう助言する。また、情報化社会を生きていく児童には、情報ネットワークのよさについて確認し、理解させていく。</li> </ul> |
| 日本の歴史      | <p>平均正答率は市の平均正答率を2ポイント上回っている。</p> <p>○●どの時代も正答率は70～80%と安定しているが、縄文時代や大和朝廷に関する問題では、正答率が低かった。大和朝廷による国土の統一の様子について、資料を基に考えて、表現する問題が十分でなかった。</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・既習内容を忘れていた児童が多いため、復習をする。</li> <li>・歴史を暗記するだけでなく、資料や発掘品、分布などから、どんなことがいえるのかなど関連付けをし、考える楽しさや想像する楽しさを感じられるようにする。</li> </ul>   |